

最近の雇用情勢について

(令和8年7月)

青森労働局

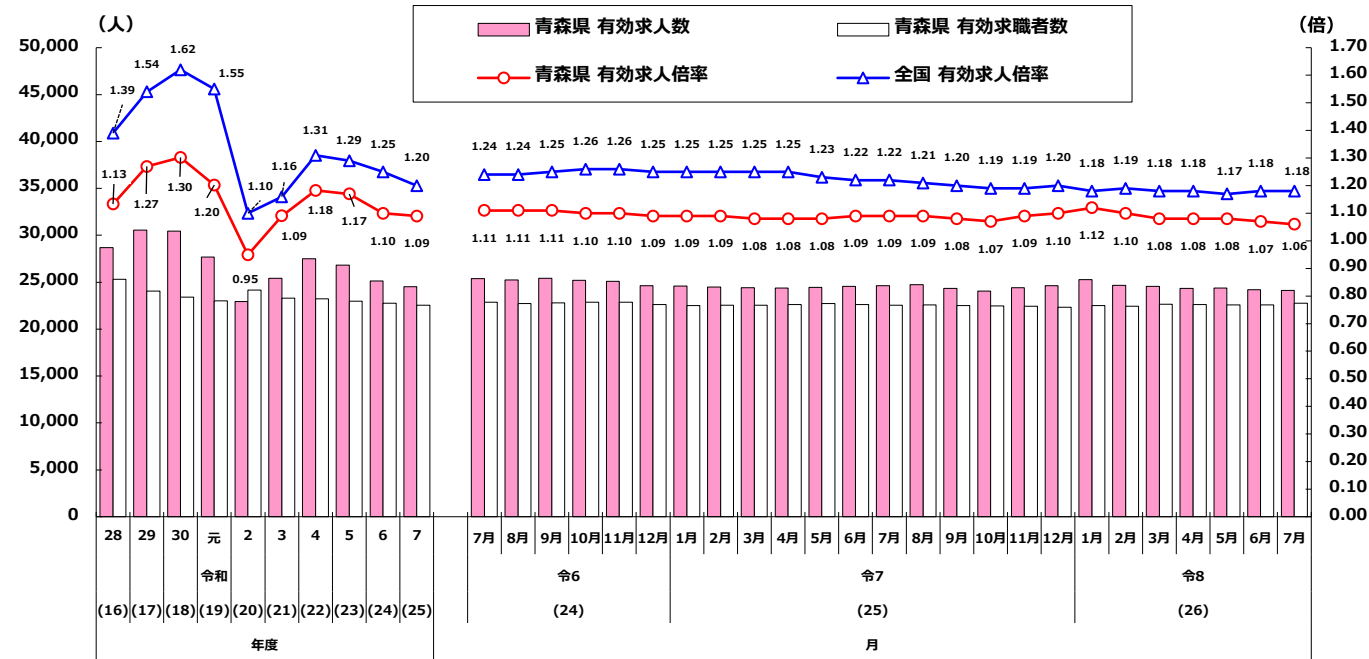
職業安定部

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

7月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ0.3%（72人）減少の24,144人、有効求職者数（同）は前月に比べ0.7%（168人）増加の22,765人で、有効求人倍率（同）は1.06倍となり前月と比べ0.01ポイント低下した。

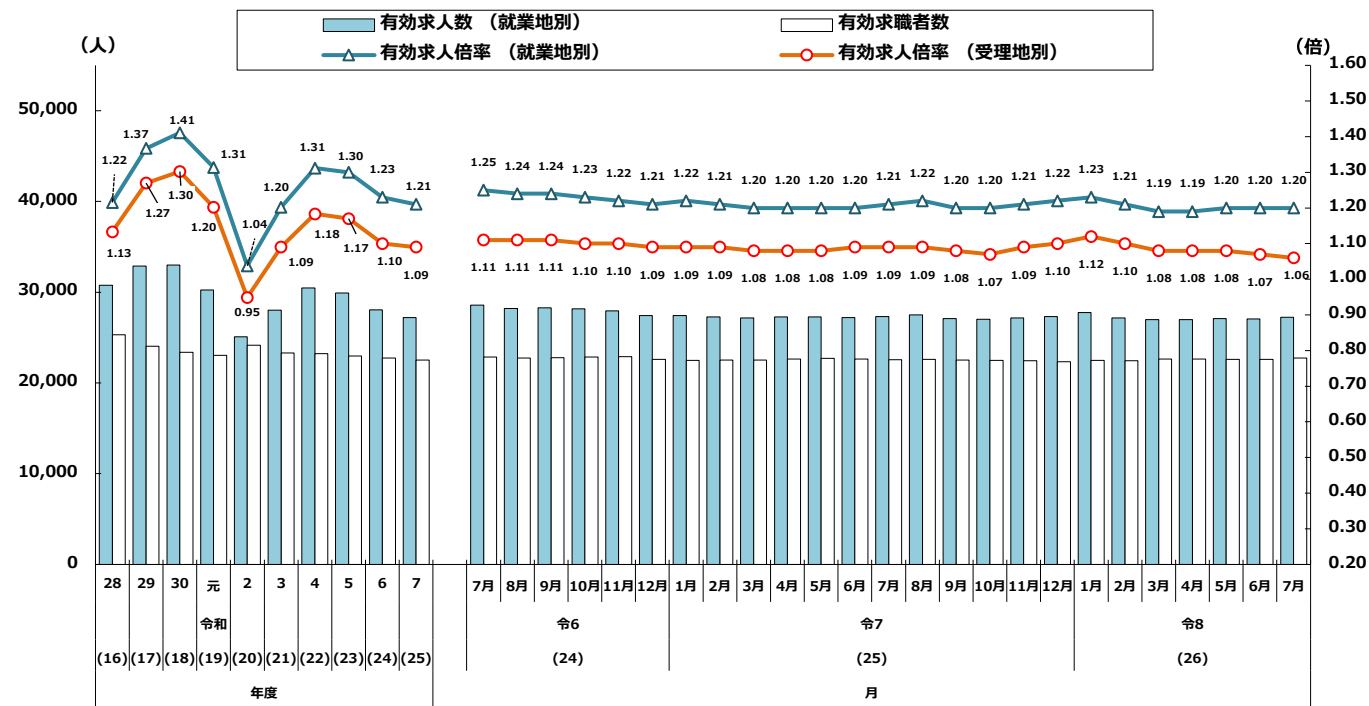
就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.20倍で前月と同じであり、受理地別の倍率を0.14ポイント上回った。

受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



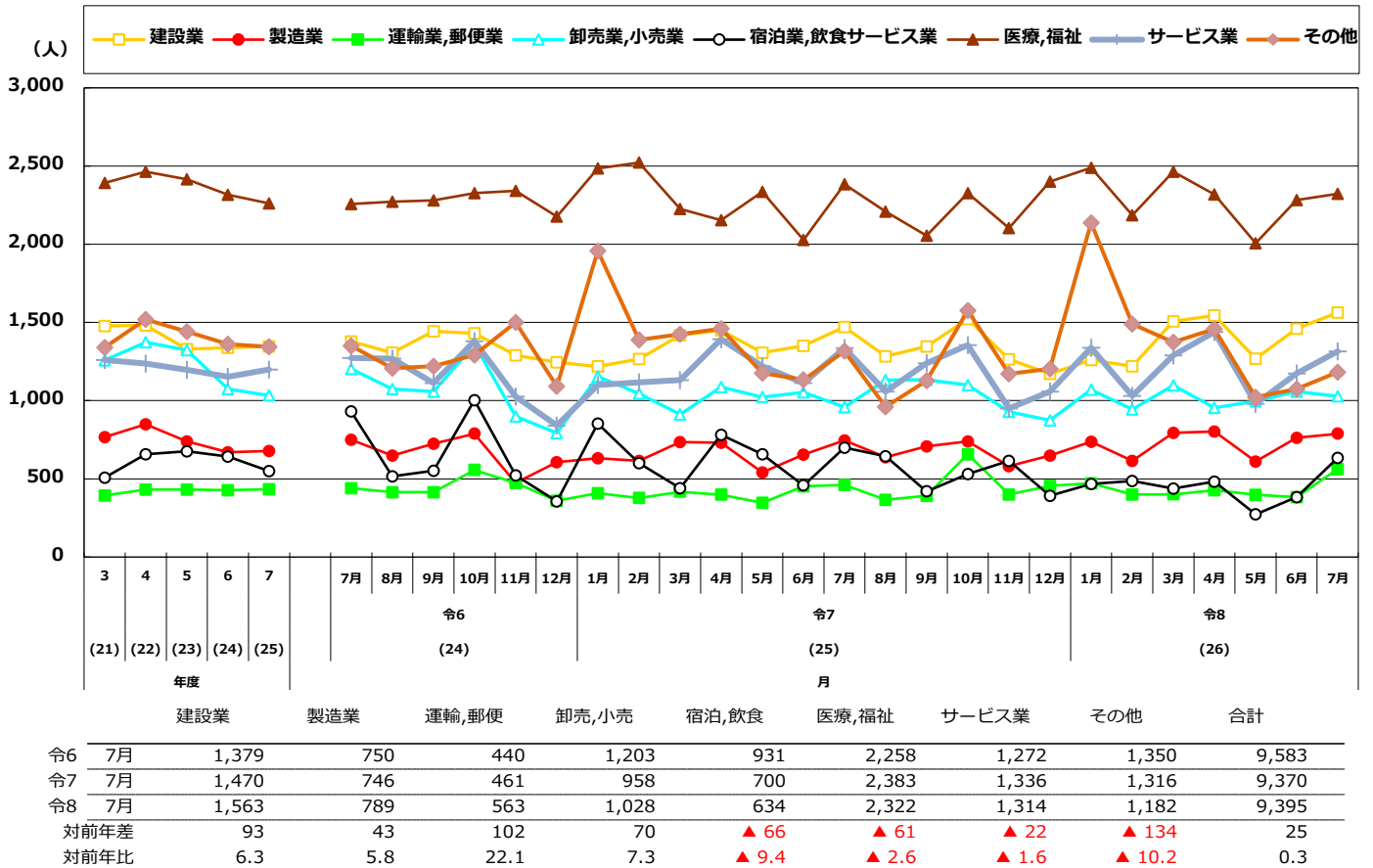
全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

7月の新規求人数(原数値)は前年同月比0.3%(25人)増加の9,395人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、前年同月との比較で、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉及びサービス業で減少し、建設業、製造業、運輸業、郵便業及び卸売業、小売業で増加した。なお製造業のうち、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、窯業・土石製品製造業及び印刷・同関連業で減少し、電気器具製造業、繊維工業、はん用・生産用機械器具製造業及び情報通信機械器具製造業等で増加した。

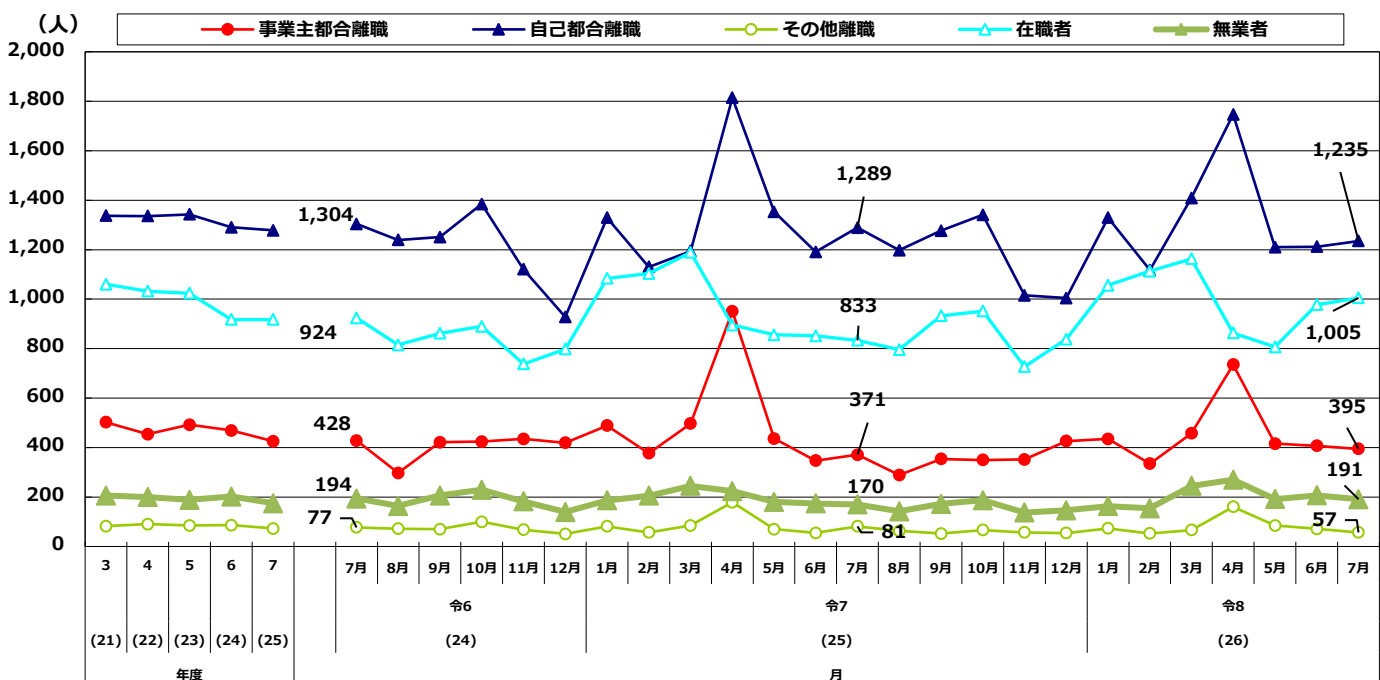


Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

7月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比5.1%(139人)増加の2,883人。

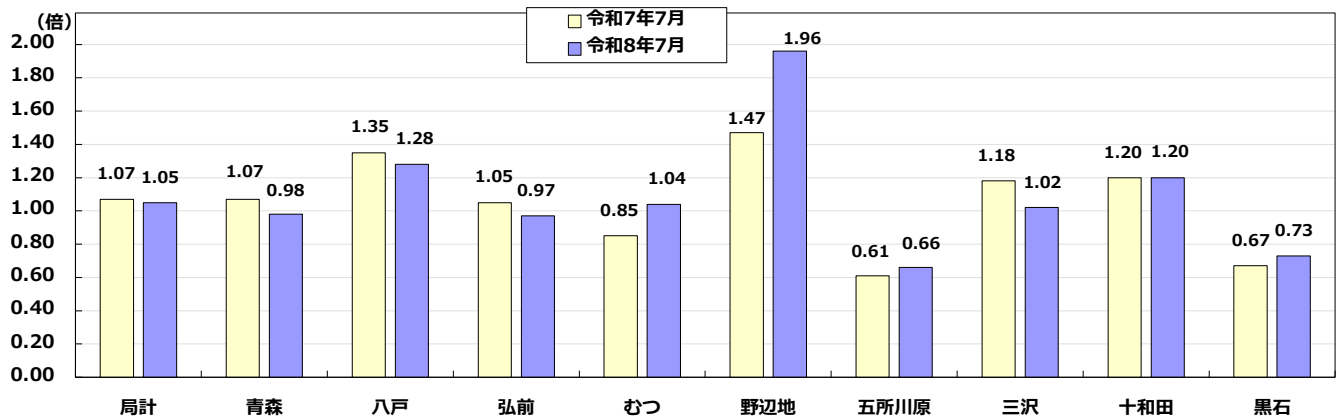
区分ごとに前年同月と比較すると、在職者は20.6%(172人)増加の1,005人、離職者は3.1%(54人)減少の1,687人、無業者は前年同月比12.4%(21人)増加の191人であった。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比6.5%(24人)増加の395人、自己都合離職は前年同月比4.2%(54人)減少の1,235人、その他離職(自営廃止等)は同29.6%(24人)減少の57人であった。



IV 安定所別有効求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

7月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.05倍となり、前年同月より0.02ポイント低下した。
各安定所の有効求人倍率は次のとおり。



令和8年7月	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	22,833	5,711	5,267	4,314	949	702	2,140	1,377	1,088	1,285
有効求人数	23,965	5,589	6,765	4,180	986	1,373	1,418	1,404	1,308	942
有効求人倍率 (前年同月比)	▲ 0.02	▲ 0.09	▲ 0.07	▲ 0.08	0.19	0.49	0.05	▲ 0.16	0.00	0.06

(単位：人)

V 雇用保険の状況

7月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比2.5%(154人)減少、前月比では0.6%(37人)増加の6,024人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比4.8%(60件)増加、前月比では8.9%(106人)増加の1,298人となった。※受給資格決定件数は速報値であり、修正の可能性があり得る。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合は、前年同月比12.6%(28人)増加、前月比3.7%(9人)増加の251人となった。

